

令和8年度 主要事業概要 ～ふるさと三陸の創造～



沿岸広域振興局土木部

沿岸広域振興局土木部主要事業概要 もくじ

1	管理施設の現況	1
2	組織、職員数及び予算概要	2
3	主要事業箇所図	4
4	主要事業	
(1)	【道路改良】(主) 釜石遠野線中村～青の木	5
(2)	【橋梁補修】一般国道 283 号鈴子歩道橋	6
(3)	【道路法面对策】(主) 大槌小国線金澤～土坂峠	7
(4)	【令和 7 年豪雨災害】花露辺地区	8
(5)	【急傾斜地崩壊対策】本郷(2)	9
(6)	【砂防事業】赤浜の沢-4	10
(7)	【砂防事業】佐須の沢	11
(8)	【河川事業】広域河川改修事業ほか河道掘削(管内)	12
(9)	【県営住宅(災害公営住宅含む)管理状況]	13
(10)	【地域経営推進費建設業若者入職促進事業】現場見学会ほか	15
5	大規模災害からの復旧復興の状況	
(1)	【東日本大震災津波】津波防災施設の復旧整備	16
(2)	【東日本大震災津波】水門陸閘自動閉鎖システム	17
(3)	【東日本大震災津波】根浜海岸砂浜再生	19
(4)	【東日本大震災津波】釜石港ガントリークレーン	20
(5)	【東日本大震災津波】水門防潮堤等の見学ツアー	21
(6)	【令和元年東日本台風】砂防堰堤などの土砂災害対策施設の整備	22
(7)	【令和 8 年大槌町林野火災】土砂災害応急対策及び砂防施設整備	24

1 管理施設の現況

■ 道路現況

【数値：(岩手の道路現況)〔令和6年4月1日〕】

路線番号	路線名	実延長 (m)	改良延長 5.5m以上(m)	改良率	舗装率 (軽舗装含)
283	国道283号	22,516.4	20,764.0	92.2%	100.0%
	小計	22,516.4	20,764.0	92.2%	100.0%
4	主) 釜石港線	1,366.0	1,366.0	100.0%	100.0%
26	主) 大槌小国線	30,783.9	27,813.9	90.4%	100.0%
35	主) 釜石遠野線	26,181.8	22,002.0	84.0%	100.0%
	小計	58,331.7	51,181.9	87.7%	100.0%
145	一) 大槌停車場線	85.2	85.2	100.0%	100.0%
146	一) 鶴住居停車場線	39.7	39.7	100.0%	100.0%
167	一) 釜石住田線	8,406.8	619.2	7.4%	100.0%
193	一) 唐丹日頃市線	12,398.0	1,885.3	15.2%	100.0%
231	一) 吉里吉里釜石線	10,042.0	4,492.7	44.7%	100.0%
242	一) 水海大渡線	7,223.1	3,306.5	45.8%	100.0%
249	一) 桜峠平田線	18,013.8	5,402.9	30.0%	100.0%
250	一) 吉浜上荒川線	8,525.0	1,443.3	16.9%	100.0%
280	一) 大槌小槌線	1,876.8	1,876.8	100.0%	100.0%
	小計	66,610.4	19,151.6	28.8%	100.0%
	合計	147,458.5	91,097.5	61.8%	100.0%

主要地方道＝(主) 一般県道＝(一)

■ 河川現況

【数値：令和5年3月31日時点】

番号	河川名	指定延長 (Km)	流域面積 (Km2)	計画高水流量 (m3/S)	比流量 (m3/S/Km2)
3	甲子川	20.700	137.5	950	6.9
17	片岸川	3.819	29.6	300	10.1
18	鶴住居川	23.127	156.1	1,000	6.4
19	小槌川	11.782	62.7	420	6.7
20	大槌川	12.500	111.5	850	7.6
49	小川川	7.050	37.0	200	11.9
68	水海川	3.900	16.4	180	11.0
69	長内川	3.300	26.5	170	6.4
90	能舟木川	1.500	5.4	41	7.6
96	沢捨川	1.150	20.3	200	9.9
100	熊野川	8.000	30.6	290	9.5
101	北川目川	0.600	—	—	—
102	中川目川	1.300	—	—	—
	小計	98.728	633.6	—	—

■ 海岸現況

【数値：令和5年4月1日時点】

区分	地区海岸名	保全区域延長 (m)	保全区域面積 (m2)	堤防高 (m)
国土交通 省所管海 岸	鶴住居地区海岸(片岸地先海岸)	820	57,443	T.P.+14.5
	鶴住居地区海岸(根浜地先海岸)	420	25,584	T.P.+5.6
	両石地区海岸(水海地先海岸)	1,340	138,165	T.P.+12.0
	平田地区海岸(青出浜地先海岸)	120	1,400	—
	小白浜地区海岸	511.9	45,791	T.P.+14.5
	釜石港海岸(須賀地区海岸)	1,010	58,096	T.P.+6.1
	釜石港海岸(大平地区海岸)	867	36,513	T.P.+6.1
	釜石港海岸(湾口地区海岸)	2,362	1,100,238	—(湾防T.P.+6.0)
	釜石港海岸(泉地区海岸)	—	—	—

■ 釜石港(現有公共係留施設)

【数値：令和元年10月1日時点】

地区名	施設名	バース	延長(m)	対象船舶
須賀	防潮堤		994.6	
	岸壁(-11m)	1	190.0	18,000D/W
	岸壁(-7.5m)	1	130.0	5,000D/W
	耐震強化岸壁(-7.5m)	1	130.0	5,000D/W
	岸壁(-4.5m)	4	240.0	1,000D/W
	物揚場(-4.0m)		718.5	
	物揚場(-3.0m)		91.5	
	物揚場(-2.0m)		349.5	
	物揚場(-1.5m)		100.0	
大平	防潮堤		852.7	

■ 砂防指定地

釜石市 87地区 大槌町24地区

合計111地区 【数値：令和8年3月31日時点】

■ 急傾斜地崩壊危険区域

釜石市 71地区 大槌町13地区

合計84地区 【数値：令和8年3月31日時点】

■ 日向ダム

【出典：「いわてのダム(平成17年3月)岩手県」】

名称	形式	堤高	堤頂長	堤体積	設計洪水流量
日向ダム	重力式コンクリートダム	56.5m	290m	241,150m3	630m3/sec
		流域面積	湛水面積	総貯水容量	
		22.0km2	0.29km2	5,700,000m3	

■ 県営住宅

13団地 828戸

【数値：令和8年3月31日時点】

2 組織、職員数及び予算概要

① 組織

調整課	土木企画、盛土規制法、建設リサイクル
管理課	庶務、委託契約、建設業許可、道路・河川・港湾の占用許可
道路整備課	道路建設工事、道路維持・修繕
河川港湾課	河川・日向ダム・砂防・急傾斜、土砂災害防止法、港湾維持修繕、 海岸・水門陸閘
建築指導課	建築物の審査・検査・指導・取締り

② 職員数 (令和8年4月1日時点)

所属等	職員数
部長	1 名
調整課	4 名
管理課	6 名
道路整備課	5 名
河川港湾課	10 名
建築指導課	3 名
会計年度任用職員	7 名
計	36 名

③ 予算概要 (百万円)

予算	R8年度 当初	R7年度 当初	増減	前年比
公共事業 (うち災害復旧費)	1, 870 (0)	2,049 (0)	▲1, 884	0. 91

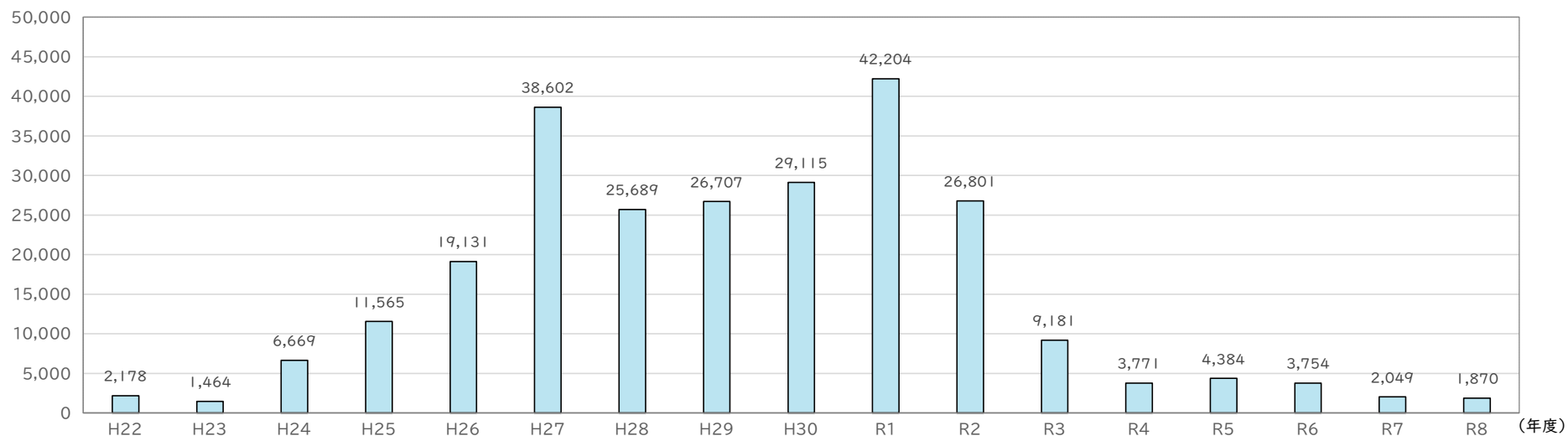
④ 予算額の推移

(百万円)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
予算額	2,178	1,464	6,669	11,565	19,131	38,602	25,689	26,707	29,115	42,204	26,801	9,181	3,771	4,384	3,754	2,049	1,870

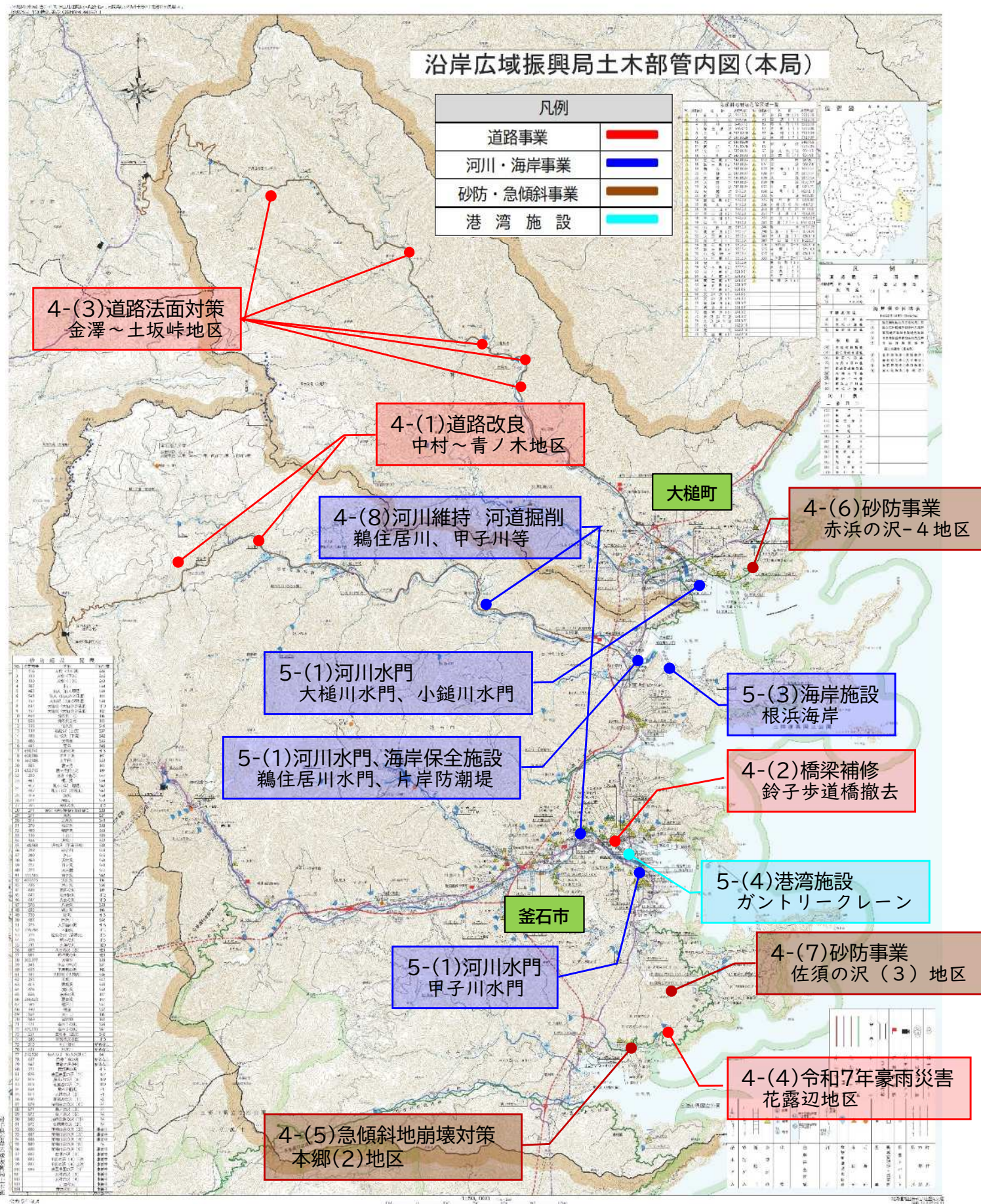
※ 当初予算ベース（当初予算＋前年度からの繰越（事故繰越含む））

(百万円)



沿岸広域振興局土木部（釜石管内）公共事業予算額の推移（通常事業+災害）

3 主要事業箇所図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 平30情使、第72-GISMAP41441号)」

※ 4(9)(10)、5-(2) (5) (6) (7)の位置図は別紙記載

4-(1) 道路改良 (主) 釜石遠野線 中村～青ノ木 (なかむら～あおのき) 地区

○事業目的

主要地方道釜石遠野線は、釜石市鵜住居町を起点とし遠野市青笹町に至る路線であり、釜石地域と遠野地域を結ぶ広域的な路線である。

沿線の釜石市橋野町には、世界文化遺産「橋野鉄鉱山」があり、本路線は主要なアクセスルートとなっているほか、沿線地域住民の通勤、通学、通院等の生活道路としても利用されている。

本路線の中村～青ノ木地区の一部区間は、道路の幅が狭く、2車線が確保されていないため、大型車同士のすれ違いが困難であり、通行の支障となっている。

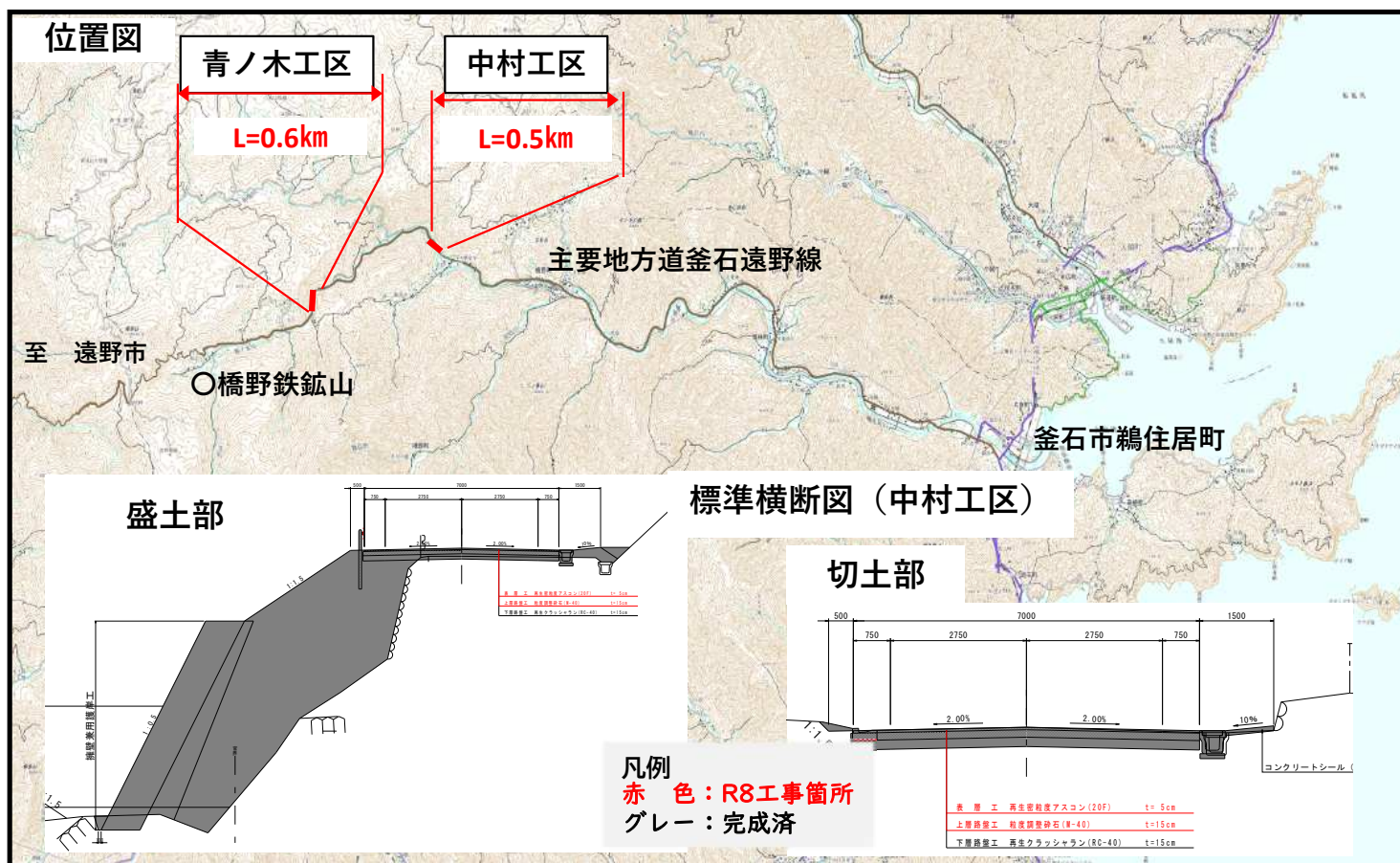
本事業は、当該区間を**2車線に整備**することにより、**通行の安全を確保**し、**広域観光ルート**のアクセス改善を図るものである。

○設計条件

- ・道路区分 第3種第4級
- ・設計速度 $V = 40 \text{ km/h}$

○計画概要

- ・施工延長 1.1km
(中村工区0.5km、青ノ木工区0.6km)
- ・道路幅員 $W = 5.5 (7.0) \text{ m}$
- ・施工期間 令和2年度～令和8年度



工事箇所全景 (中村工区)



完成 (中村工区)



○事業目的

一般国道283号は、岩手県釜石市と花巻市を結ぶ幹線道路であり、岩手県地域防災計画において第1次及び第2次緊急輸送道路に指定される重要な路線である。

本路線の釜石市鈴子地内にある鈴子歩道橋は、昭和45年に架橋（橋令55年）の横断歩道橋であり、階段や高欄の腐食が著しく進行していることから、集約化・撤去を行い道路の安全性を確保するものである。

○ 橋梁諸元

- ・ 橋 長 23.95m
- ・ 幅 員 1.5m(全幅4.3m)
- ・ 竣 工 1970年(昭和45年) ※56年経過
- ・ 形式 単純鋼H桁橋
鋼製支承、デッキプレート床版
鋼製橋脚、直接基礎
- ・ その他 緊急輸送道路(1次・2次)指定

○ 工事概要

- ・ 上部工撤去工 1式
- ・ 下部工撤去工 1式
- ・ 歩道舗装補修工 1式



鈴子歩道橋全景写真



階段部の腐食状況



○事業目的

主要地方道大槌小国線は、大槌町安渡を起点とし、土坂峠を經由して宮古市小国に至る広域的な路線であり、「岩手県地域防災計画」において緊急輸送道路に位置づけられているほか、沿線地域住民の通勤、通学路、通院等の生活道路としても利用されている。

本路線の大槌町内は、主に山地に挟まれ蛇行する大槌川沿いに路線が通っており、**道路の山側には急な斜面や崖が多く存在する。**

これらの斜面等からは、**多くの落石が確認されている**ほか、斜面上には道路へ落下する恐れのある**露岩や浮石**(むき出しの大きな岩やぐらぐらして動きやすい石)等が**多数存在している**ため、**落石対策を目的として防護工や予防工**を行い、安全な交通の確保を図るものである。

○計画概要

- ・計画延長 750m
- ・道路幅員 5.5 (8.0) m
- ・事業期間 平成31年度～

○事業概要(令和8年度)

- 【A062工区・A176工区】
事業実施に向けた用地の取得と立木等の補償
- 【A032工区・A046工区】
事業に向けた設計業務の実施

位置図



現地写真 (A032工区)



※亀裂が発生した露岩

※多数の浮石

現地写真 (A046工区)



※亀裂が発生した露岩

○事業目的

一般県道桜峠平田線は、釜石市唐丹町を起点とし釜石市平田に至る路線であり、地域住民の生活道路として利用されている。

本路線の花露辺地区においては、令和7年5月31日～6月1日豪雨により発生した大量の路面流下・法面流下水が集中して流れ込んだことにより、**道路法面・土羽法面の崩壊**につながった。このため、**道路災害復旧工事**を実施し、被災した道路の復旧と交通機能の確保を図るものである。

○計画概要

- ・ 施工延長 10m
- ・ 道路幅員 5m
- ・ 事業期間 令和7年度～令和8年度

○施工概要

- ・ プレキャスト擁壁工 1式
- ・ アスファルト舗装工 1式
- ・ 防護柵工 1式

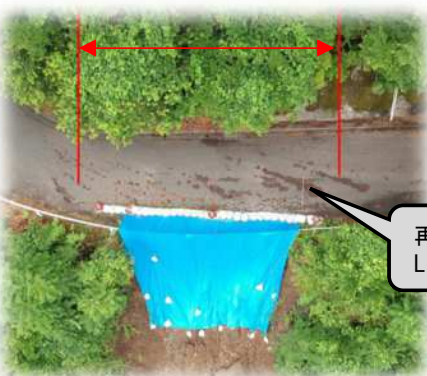
○位置図



○被災写真



大雨による
流下水により
法面が崩壊した



工事前

再度被災を防ぐために
L型擁壁を据付。

○施工状況



L型擁壁を据付するために
舗装を壊して土砂を掘削



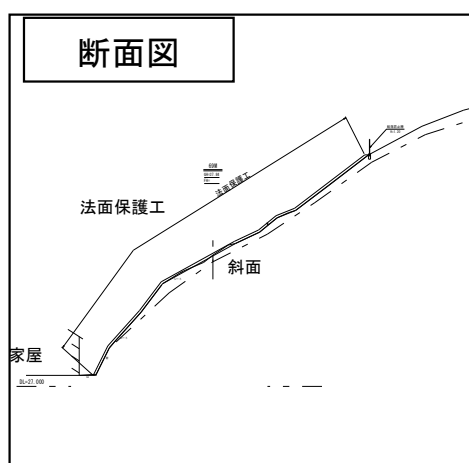
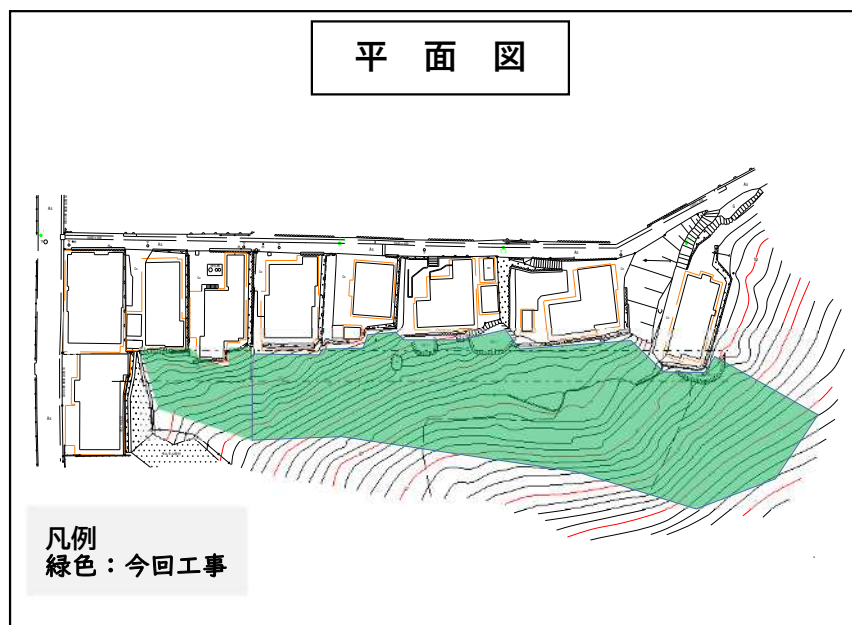
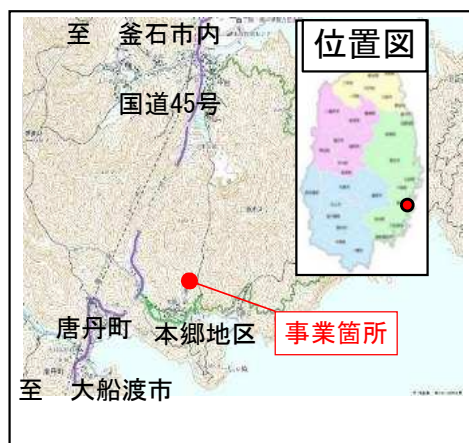
4-(5) 急傾斜地崩壊対策事業 本郷（2）（ほんごう）地区

○事業目的

当該箇所は、昭和52年7月に急傾斜地崩壊危険区域に指定され、昭和57年から59年にかけて緊急性の高い区間の施設整備が行われたが、令和元年10月の台風第19号に伴う総雨量300mmを越える豪雨により、施設未整備の斜面の表層崩壊が発生した。
このため、早急に急傾斜地崩壊対策施設を整備し、地域の安全の確保を図るもの。

○計画概要

保全対象：人家27戸
事業費：約4億円
事業期間：令和5年度～令和9年度
工事概要：全体延長 L=115m
法面保護工 A=3,250m²



4-(6) 砂防事業 赤浜の沢-4 地区

○事業目的

赤浜の沢-4は、その他水系の土石流危険溪流であり、令和元年10月台風第19号において土砂流出が発生するなど、溪岸浸食が進行し、溪床に不安定土砂が堆積している状況である。そのため、大雨等でさらに土砂流出が発生する危険がある。

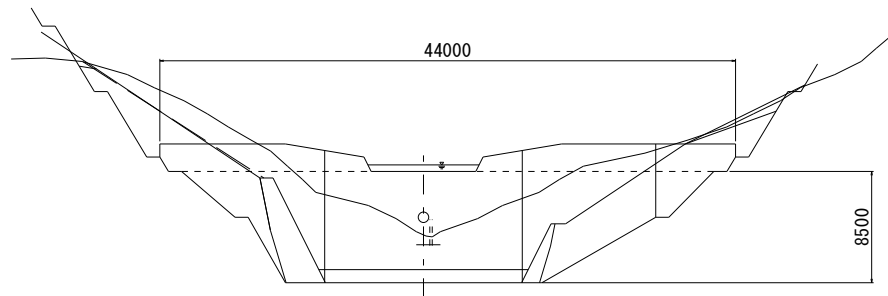
保全対象は、人家57戸の他、福祉施設、郵便局、公民館（指定避難所）等がある。

これにより、当該箇所では土砂災害が発生した際には甚大な被害発生のおそれがあるため、早急に砂防施設を整備し、地域住民の安全確保を図るもの。

○計画概要

- 保全対象 : 人家57戸、赤浜分館・多目的ホール（指定避難所）、郵便局1、要配慮者利用施設1、県道302m
- 全体事業費 : 約4.2億円
- 事業期間 : 令和3年度～令和9年度
- 工事概要 : 砂防堰堤 1基

断面図



航空写真



位置図



流域内の崩壊地



流域内の土砂ダム



住宅地への土砂痕跡



4-(7) 砂防事業 佐須の沢 (3) 地区

○事業目的

佐須の沢 (3) は、その他水系の土石流危険渓流であり、令和元年10月台風第19号において土砂流出が発生するなど、溪岸浸食が進行し、**溪床に不安定土砂が堆積している状況**である。そのため、大雨等でさらに**土砂流出が発生する危険**がある。

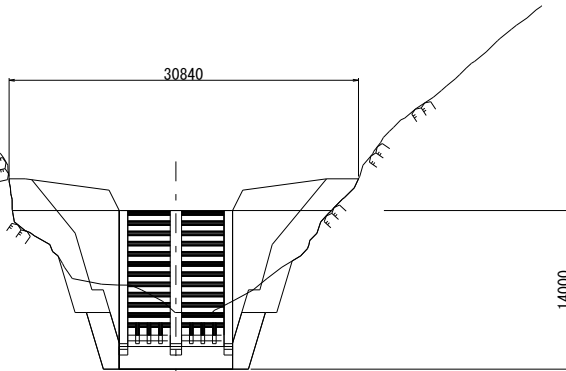
保全対象は、人家27戸の他、公共道路（市道960m、その他道路310m）、公共的建物（佐須集会所、消防屯所）がある。

これにより、当該箇所では土砂災害が発生した際には甚大な被害発生のおそれがあるため、早急に**砂防施設を整備し、地域住民の安全確保を図るもの**。

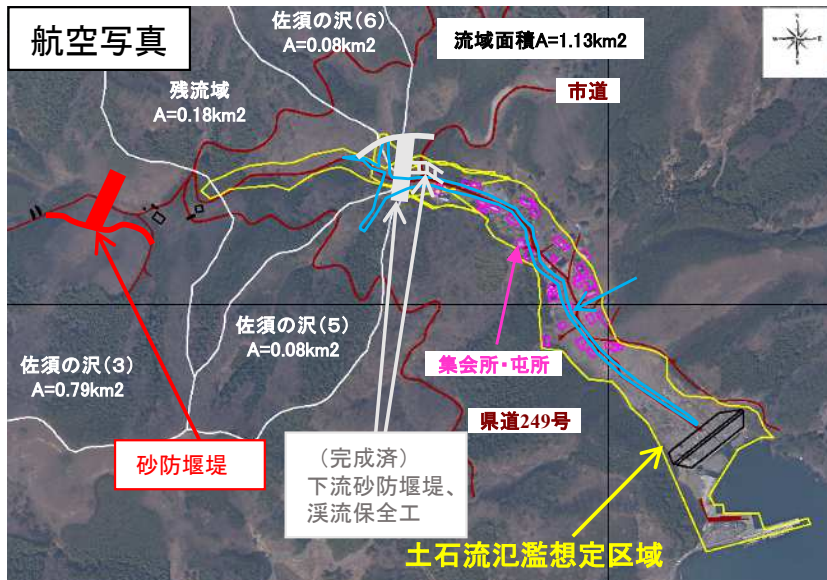
○計画概要

- 保全対象 : 人家27戸、市道960m、その他道路310m、公共的建物2棟
- 全体事業費 : 約3.0億円
- 事業期間 : 令和6年度～令和10年度
- 工事概要 : 砂防堰堤 1基

断面図



航空写真



溪岸(溪床)侵食の状況



位置図



崩壊地の状況



人家被災状況



道路被災状況



4-(8) 河川維持 河川海岸等維持修繕事業ほか 河道掘削

県では、河川の適切な維持を図るため、河道掘削や立ち木伐採について、着実に取り組んでいる。

河道掘削や立ち木伐採については、

- ① 近年出水箇所で家屋浸水があった箇所
 - ② 河道断面が不足している箇所で資産集中箇所
 - ③ 釜石市及び大槌町から河道掘削や立ち木伐採要望があった箇所
 - ④ その他必要と認められる箇所
- など、優先順位を勘案し工事を推進している。

○対応状況写真（鵜住居川道々地区）

実施前



実施後



○対応状況写真（甲子川鈴子地区）

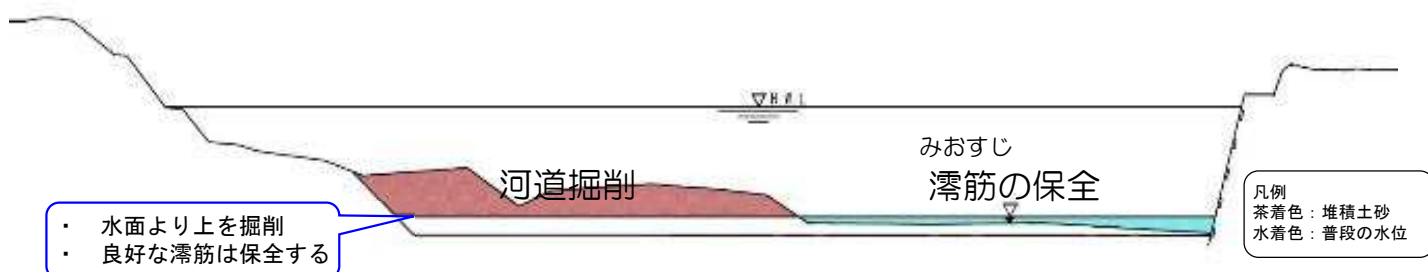
実施前



実施後



○河道掘削のイメージ



4 - (9) 県営住宅（災害公営含む）管理状況

○県営住宅（公営住宅及び災害公営住宅）の目的

- **公営住宅**：所得が一定の基準以下の住宅に困っている方に賃貸し、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的に整備
- **災害公営住宅**：東日本大震災津波により住宅を失った被災者の居住の安定を目的に整備

○概要

震災前は3団地297戸だった管内の公営住宅は、震災後に建設された災害公営住宅10団地531戸が平成30年度までに全戸が完成し、合わせて13団地828戸（戸数約2.8倍）となった。

この内、釜石市が9団地608戸、大槌町が4団地220戸となっている。

なお、被災者用に整備した災害公営住宅に空き室が生じた場合は、被災者用に一定の戸数を確保した上で、被災者以外も募集している。

種別	所在地	団地名	棟数	戸数
一般公営	釜石市	大平	1	58
		日向	5	95
		上平田	8	144
一般公営計		3団地	14	297
災害公営	釜石市	平田	1	126
		片岸	1	17
		松原	2	60
		嬉石第1	1	52
		嬉石第2	1	32
		両石	1	24
	釜石市計	6団地	7	311
	大槌町	屋敷前	3	151
		大町	1	23
		安渡	1	23
		上町	1	23
	大槌町計	4団地	6	220
	災害公営計		10団地	13
合 計		13団地	27	828

上町アパート 23戸（災害）
〔平成31年3月 完成〕



日向アパート 95戸（一般）
〔昭和51年 完成〕



両石アパート 24戸（災害）
〔平成30年4月 完成〕



松原アパート 60戸（災害）
〔平成29年3月 完成〕



嬉石第1アパート 52戸（災害）
〔平成29年7月 完成〕



大平アパート 58戸（一般）
〔平成16年 完成〕



上平田アパート 144戸（一般）
〔昭和57年 完成〕



屋敷前アパート 151戸（災害）
〔平成27年10月 完成〕



凡例 ● 災害公営 ● 一般公営

- 50戸未満
- 50戸以上100戸未満
- 100戸以上

大町アパート 23戸（災害）
〔平成30年9月 完成〕



安渡アパート 23戸（災害）
〔平成30年12月 完成〕



片岸アパート 17戸（災害）
〔平成29年2月 完成〕



嬉石第2アパート32戸（災害）
〔平成29年7月 完成〕



平田アパート 126戸（災害）
〔平成26年1月 完成〕



人口減少による少子高齢化社会により、建設業者の担い手が不足が深刻化している。建設業の分野においては、他業種に比べて高齢化割合が高く、若者の割合が低く、担い手確保が課題となっている。

建設業に対するイメージは、地域の安全・安心を支える大切な仕事という認識が多い一方、きつい、危険、休みがない等のイメージを持っている。

そこで、建設業への興味を持ってもらうため、令和3～7年度に中・高等学校を対象に現場見学会等を開催しており、令和8年度は7校で10回開催予定である。

現場見学会は2部構成で、①模型実習・座学、②現場見学・体験学習を実施し、多くの参加者が建設業に建設業の魅力を知ってもらうきっかけとなっている。

令和7年度建設業若者入職促進事業 実施内容

沿岸広域振興局
土木部



現場見学会は2部構成で、①模型実習・座学、②現場見学・体験学習を実施しています。

模型実習・座学（学校内）



土石流模型での実験



土砂災害について学習

現場見学・体験学習（工事現場または校庭など）



現場見学



VRによる建設現場体験



ICT重機の乗車体験



ドローン操作体験

受講後のアンケート結果（令和7年度）…現場見学会実施前と実施後でアンケートを実施

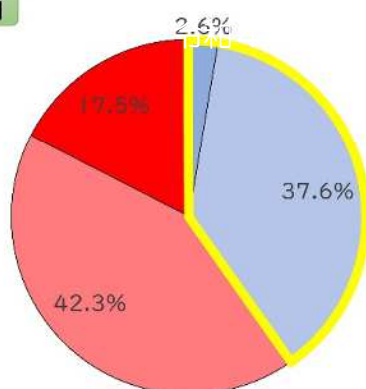
（調査対象）参加した6校191名※ 釜石地区のみ、回収率95%

Q. 今日一日の体験を通して、建設業に興味を持ちましたか？

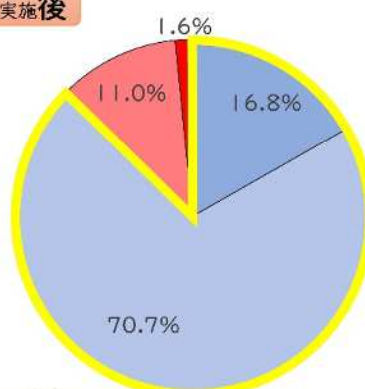
「大変興味がある」+「いくらか興味がある」
実施前：40.2% → 実施後：87.4%
47.2%増で新たに91人が「興味あり」に！

実施前後で興味のあるなしが**逆転**するほど劇的に変化した！

- 見学会実施前
- 大変興味がある
 - いくらか興味がある
 - あまり興味が無い
 - 興味がない



見学会実施後



（見学会参加前）
建設業？よくわからない…



（見学会参加後）
建設業ってかっこいい！

東日本大震災津波により防潮堤等の津波防災施設は、破堤や施設の沈下等の被害が生じた。

被害を受けた津波防災施設については、背後の復興まちづくりと一体となって復旧・整備を進め、甲子川、鵜住居川、大槌川及び小鎚川は、令和3年3月に完成にした。

○完成した津波防災施設

甲子川水門



鵜住居川水門と片岸海岸防潮堤



小鎚川水門



大槌川水門



【参考】堤防の高さの設定

防潮堤や水門等の津波防災施設の高さは、以下の考え方により設定している。

- ① 数十年～百数十年の頻度で発生している津波を設計対象津波群として設定。
一連の海岸や湾ごとに
 - ・ 過去の津波の痕跡高さの記録の整理
(例：慶長地震、明治三陸地震、昭和三陸地震、チリ地震、2011年東北地方太平洋沖地震 等)
 - ・ 発生の可能性が高い地震等の津波シミュレーションの実施
(例：想定宮城県沖地震 等)
- ② 設計対象津波群を対象に、海岸堤防によるせり上がりを考慮して設計津波の水位を設定。
- ③ この水位を前提に、海岸の利用や環境、景観、経済性、維持管理の容易性などを総合的に考慮して堤防の高さを設定（所管省庁間や隣接海岸間で整合性を確保）。

各施設の堤防の高さ

	甲子川水門	鵜住居川水門 片岸海岸防潮堤	小鎚川水門	大槌川水門
堤防の高さ	T. P. +6.1m	T. P. +14.5m	T. P. +14.5m	T. P. +14.5m

※ T. P. : Tokyo Peil (東京湾平均海面) の略で、標高の基準となる海水面の高さ。

東日本大震災津波

令和4年1月15日に発生したトンガ諸島付近の海底火山噴火の影響により、翌16日に津波注意報が発表されたが、管内の対象水門・陸閘はすべて閉鎖したことを確認している。

- ・自動閉鎖システム対象箇所 214箇所（うち、釜石市内23箇所＋大槌町内2箇所＝25箇所）
- ・事業費 80億円（うち、沿岸広域振興局土木部管内10億円）
- ・事業年度 平成27年度～令和3年度（管内）

〇システム概要

STEP1

津波警報等発表

消防庁

衛星回線

津波警報等受信 (Jアラート)

STEP2

統制局

県庁 釜石合庁

自動閉鎖指令 [メイン]

制御所

合庁 市町村 消防署等

手動操作による 制御・監視 [バックアップ]

アンテナ 衛星からの情報を を受信する

消防庁

統制局

制御所

安全・警報設備 (スピーカー、回転灯等)

周辺に通知

音声、光、文字等で陸間の閉鎖・避難を周知。

階段等による避難の周知。

閉鎖開始

陸間の閉鎖。

閉鎖完了

津波到達

避難方法

陸間から避難。

小扉・避難階段等から避難。

スピーカー サイレン、音声により注意を促す

津波警報が 発生せよに 至急高台に 避難してください

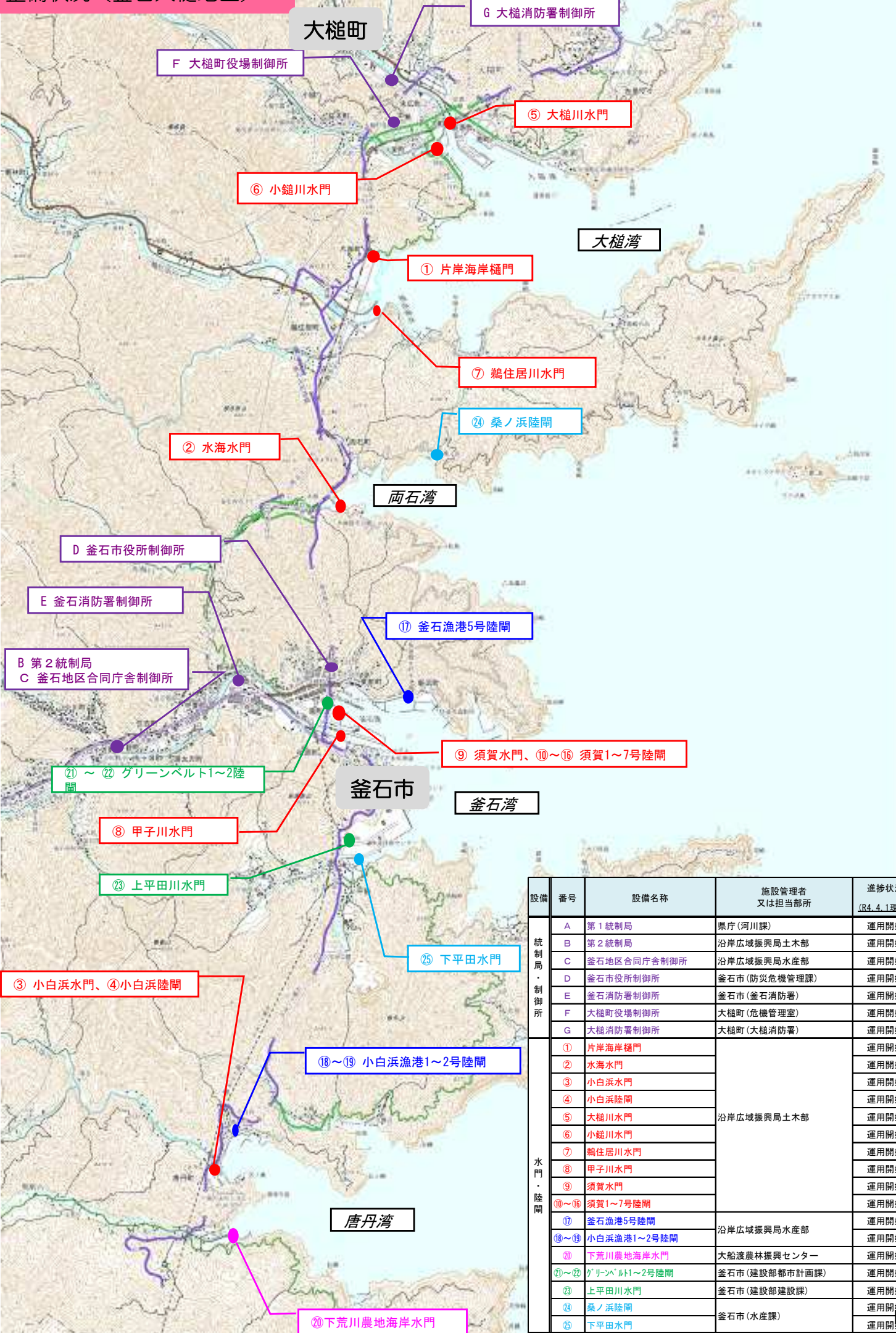
回転灯 光により注意を促す

挟み込み防止装置 人や車両の挟まれを検知する

自動で閉鎖
津波から地域を守る

自動で閉鎖
津波から地域を守る

○整備状況（釜石大槌地区）



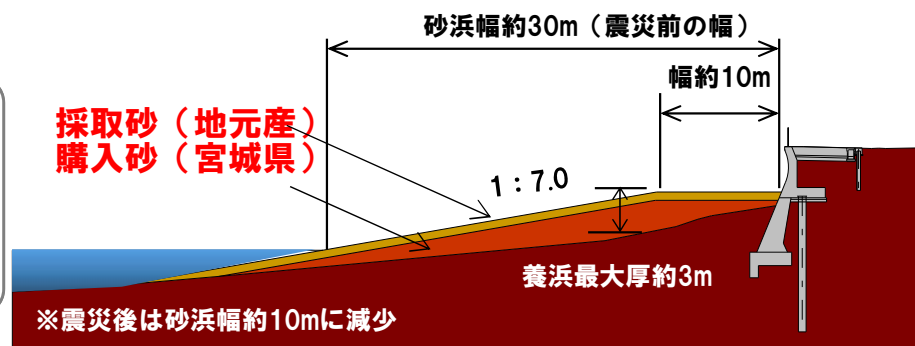
設備	番号	設備名称	施設管理者 又は担当部所	進捗状況 (R4.4.1現在)
統制局・制御所	A	第1統制局	県庁(河川課)	運用開始
	B	第2統制局	沿岸広域振興局土木部	運用開始
	C	釜石地区合同庁舎制御所	沿岸広域振興局水産部	運用開始
	D	釜石市役所制御所	釜石市(防災危機管理課)	運用開始
	E	釜石消防署制御所	釜石市(釜石消防署)	運用開始
	F	大槌町役場制御所	大槌町(危機管理室)	運用開始
	G	大槌消防署制御所	大槌町(大槌消防署)	運用開始
水門・陸閘	①	片岸海岸樋門	沿岸広域振興局土木部	運用開始
	②	水海水門		運用開始
	③	小白浜水門		運用開始
	④	小白浜陸閘		運用開始
	⑤	大槌川水門		運用開始
	⑥	小槌川水門		運用開始
	⑦	鵜住居川水門		運用開始
	⑧	甲子川水門		運用開始
	⑨	須賀水門		運用開始
	⑩～⑬	須賀1～7号陸閘		運用開始
	①⑦	釜石漁港5号陸閘	沿岸広域振興局水産部	運用開始
	①⑧～①⑨	小白浜漁港1～2号陸閘		運用開始
	②⑦	下荒川農地海岸水門	大船渡農林振興センター	運用開始
	②①～②②	グリーンベルト1～2号陸閘	釜石市(建設部都市計画課)	運用開始
	③③	上平田川水門	釜石市(建設部建設課)	運用開始
	②④	桑ノ浜陸閘	釜石市(水産課)	運用開始
	②⑤	下平田水門		運用開始

東日本大震災津波により消失した根浜海岸の砂浜について、平成29年度に人工的な砂浜再生が技術的に可能か検討を実施し、この結果「養浜が定着することが可能」と判断したことから、平成30年度から工事を進め、令和2年8月に完成した。

これらの検討及び事業実施にあたっては、「根浜海岸復興養浜技術検討委員会」や「根浜海岸砂浜再生懇談会」でのご助言・ご意見を頂いたもの。

○海岸施設の概要

- ・事業概要
 - 養浜整備 450m
 - 突堤 1基
 - 養浜量 約45,000m³
- ・事業費 約10億円

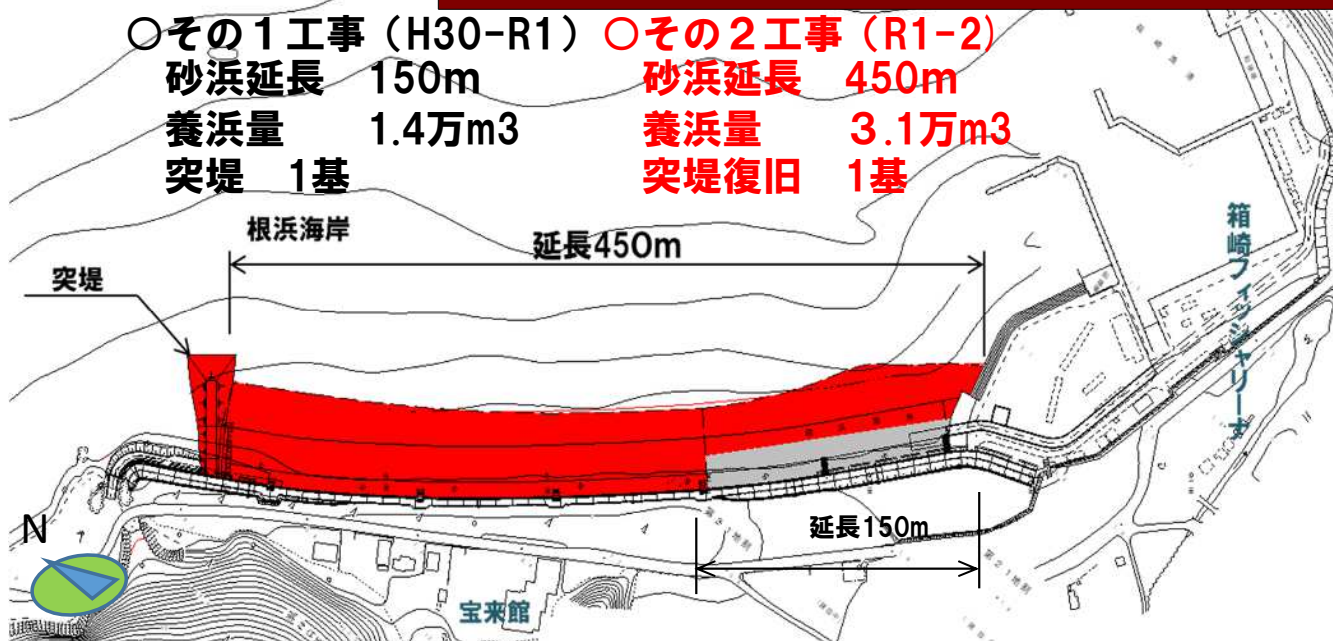


○その1工事（H30-R1）

砂浜延長 150m
養浜量 1.4万m³
突堤 1基

○その2工事（R1-2）

砂浜延長 450m
養浜量 3.1万m³
突堤復旧 1基



震災前



震災直後



釜石港では、東日本大震災津波後の平成23年7月に国際フィーダー定期航路が就航し、コンテナ貨物取扱量が順調に伸びていたことや運航会社から外資定期コンテナ航路の開設意向が示されたことから、ガントリークレーンの導入が喫緊の課題となっていた。

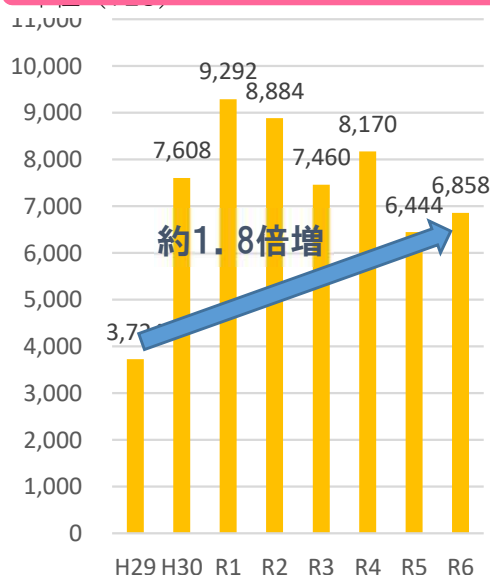
そうした中で、大阪府から大船渡土木センターに派遣されていた応援職員の橋渡しによって「震災復興のために」と大阪府からのガントリークレーンの無償譲渡が実現し、平成29年9月に供用が開始された。

ガントリークレーンの導入によって、大型コンテナ船への荷役対応が可能となっており、本県の物流の更なる発展が見込まれる。



※参考	平成23年	国際フィーダーコンテナ定期航路開設（7月19日）
	平成29年	県営ガントリークレーン供用開始（9月23日）
		外資コンテナ定期航路開設（11月17日）
	平成31年	東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻間）全線開通（3月9日）
	令和元年	動物検疫港指定（8月26日）
	令和2年	ポート・オブ・ザ・イヤー2019を受賞（1月22日）
	令和6年	国際フィーダーコンテナ定期航路2便目の新規開設（6月22日）

○釜石港コンテナ取扱量



高さ(ブームアップ時): 約77m
 高さ(ブームダウン時): 約56m
 自重: 約557t
 吊上荷重: 44.5t
 定格荷重: 38.0t/30.5t (コンテナ)

ガントリークレーン



釜石港の航空写真



夜間荷役用照明の整備状況



増設したリーファーコンセント

2021年
3月撮影

釜石市は、市内で最も大きな被害を生じた鵜住居地区防災センター跡地に「いのちをつなぐ未来館」を整備し、震災の出来事や教訓を伝え、未来の命を守るための防災学習に取り組んでいる。当該施設の指定管理者である株式会社かまいしDMCは、館内無料ガイドのほか、有料プログラムとして現地体験プログラム（避難路迫体験、スタジアム見学、水門・防潮堤見学&震災伝承語り部）を用意して受け付けている。

そのうち水門・防潮堤見学においては、鵜住居川水門及び片岸防潮堤の管理者である沿岸広域振興局土木部が案内役を協働し、これまでの復旧・復興の取組や避難行動の必要性を説明して、多重防災の重要性を広報している。

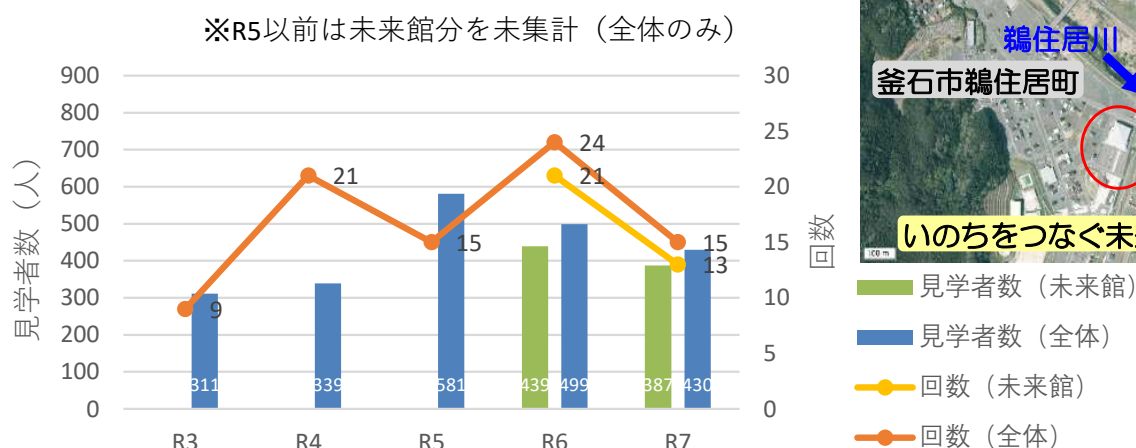
通常、施設管理者の実施するインフラ見学は無料で実施されることが一般的であるが、このプログラムではかまいしDMCが収入を得て実施しており、この地域における新たなインフラツーリズムのかたちとして捉えている。土木部ではプログラム参加者が少人数であっても積極的に施設案内を引き受けており、これらの取組は震災伝承活動を持続可能なものとする新たな仕組みと考え、協働の取組を継続していく。

見学を希望する方は下記ホームページを参照。

<https://unosumai-tomosu.jp/tsunami-memorial-hall/>



○鵜住居川水門、片岸防潮堤の施設見学



○位置図

水門・防潮堤見学



○施設見学状況



令和元年10月の台風第19号により土石流が発生し、人家等への被害が大きかった13の溪流において、砂防堰堤などの土砂災害対策施設を整備し、令和6年度に完成しました。

○ 災害関連緊急砂防事業・砂防激甚災害対策特別緊急事業（令和4年度完成）

仮宿東の沢(2)、桑ノ浜沢(3)、桑ノ浜沢(5)、尾崎白浜の沢(6)、尾崎白浜の沢(11)

○ 砂防激甚災害対策特別緊急事業

尾崎白浜の沢(8)（令和4年度完成）

尾崎白浜の沢(4)、吉里吉里の沢(3)、平田の沢(4)（令和5年度完成）

尾崎白浜の沢(9)、佐須の沢(3)（令和6年度完成）

○ 通常砂防事業（令和5年度完成）

尾崎白浜の沢(2)、尾崎白浜の沢(3)

○ 桑の浜地区



桑ノ浜沢(5) R5.1完成

桑ノ浜沢(5)



桑ノ浜沢(3) R4.6完成

桑ノ浜沢(3)

○ 仮宿地区



仮宿東の沢(2) R4.11完成

仮宿東の沢(2)



尾崎白浜の沢(3) R5.7完成

○ 平田地区



平田の沢(4)下流 R5.6完成



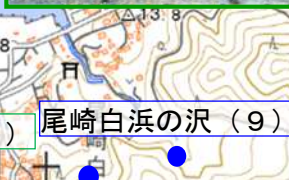
平田の沢(4)上流 R6.2完成



○ 尾崎白浜地区



尾崎白浜の沢(2) R5.7完成



尾崎白浜の沢(4) R5.5完成



尾崎白浜の沢(9) R6.7完成



尾崎白浜の沢(8) R5.3完成



尾崎白浜の沢(6) R4.7完成



尾崎白浜の沢(11) R4.11完成



○ 吉里吉里地区



吉里吉里の沢(3)

吉里吉里の沢(3) R5.12完成



○ 佐須地区



佐須の沢(3)

佐須の沢(3) R6.6完成



令和元年東日本台風に係る砂防事業が完了したところから、令和6年8月に、地域の皆様にこれまでの事業報告などを行うことを目的とした完成報告会を開催しました。

また、令和元年東日本台風で発生した土砂災害に対する発災から事業完了までの流れを、記録誌としてとりまとめ岩手県のホームページで公開しています。

砂防工事完成報告会の開催について

令和元年東日本台風に係る砂防工事完成報告会について

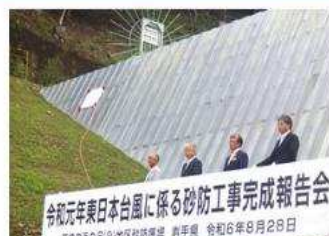
沿岸広域振興局
土木部

実施日：令和6年8月28日（水）
参加者：地域住民及び施工者（約30名）
場所：尾崎白浜の沢（9）地区砂防堰堤築造工事（釜石市平田地内）

令和元年東日本台風に係る砂防事業で本県最後の工事箇所であった尾崎白浜の沢（9）地区砂防堰堤で、地域の皆様に対しこれまでの事業報告などを行うことを目的とした完成報告会を開催しました。



記念撮影



堰堤銘板お披露目



事業報告



地域防災講座

砂防事業対応記録誌

令和元年東日本台風における 砂防事業対応記録誌



令和7年3月

沿岸広域振興局土木部

目次

01 はじめに	
これまでの主な歩み	4
令和元年東日本台風における砂防事業対応年表	7
02 気象概要	8
03 土砂災害発生状況	9
土砂災害発生状況（全県）	9
土砂災害発生状況（沿岸土木部管内）	10
土砂災害発生状況（宮古土木センター管内）	23
土砂災害発生状況（岩泉土木センター管内）	26
施設効果事例	30
04 発災直後の取組み	32
土砂災害対応状況	32
土砂災害調査	34
05 土砂災害対策事業	36
岩手県での事業実施計画	36
沿岸土木部での施設整備状況位置図	38
箇所別復旧状況（沿岸土木部管内）	40
宮古土木センターでの施設整備状況位置図	54
箇所別復旧状況（宮古土木センター管内）	55
岩泉土木センターでの施設整備状況位置図	55
箇所別復旧状況（岩泉土木センター管内）	55
その他施設整備状況位置図	64
箇所別復旧状況（東北土木部管内）	65
06 地域に対するソフト対策等の取組み	66

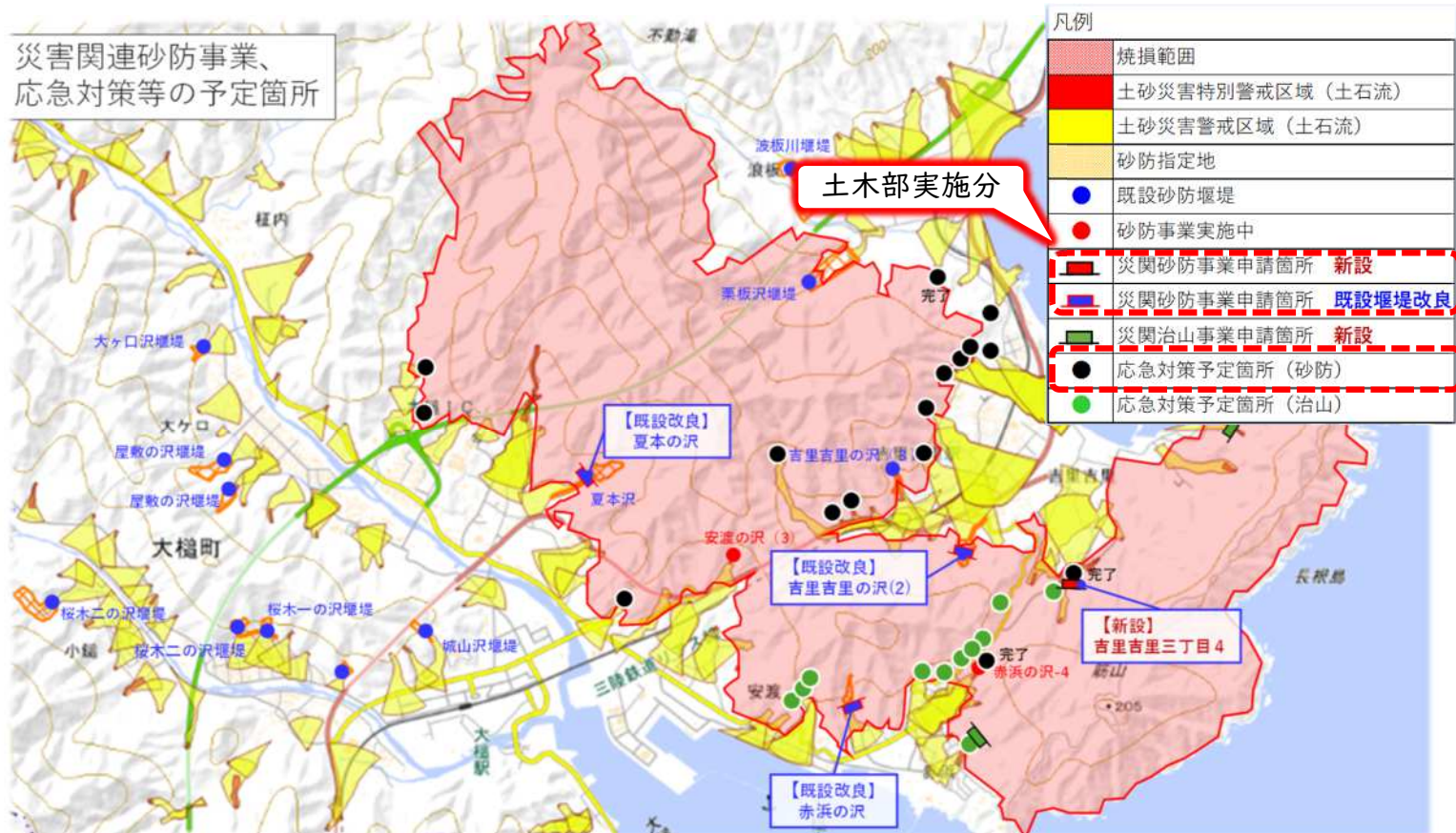
砂防事業対応記録誌は
こちらから



令和8年4月に発生した大槌町林野火災により、被災区域では土砂災害の発生リスクが高まっています。火災が発生した林野では、森林復旧等により植生が回復するまでの間、雨水がしみこみにくく、普段より土砂が流出しやすい状態となり、土砂災害リスクの増加が懸念されます。

このため、出水期における被害の軽減を図ることを目的として、土砂災害警戒区域等において応急工事を実施しました。さらに、災害関連緊急砂防事業による砂防堰堤の整備について、今後、順次工事に着手する予定です。

応急対策箇所（土木部実施分）と災害関連緊急砂防事業実施箇所



応急対策箇所（土木部実施分）の実施状況

実施箇所 吉里吉里三丁目4（令和8年6月実施）

実施前



上流側が火災により焼失したため、土砂災害のリスク増加

実施後



かみへいぐん おおつちちょう
**令和8年4月22日に岩手県上閉伊郡大槌町で発生した林野火災に対して
 災害関連緊急砂防事業を実施し人家・公共施設等を守ります**

国土交通省砂防部
 令和8年7月1日

実施主体:岩手県

あかはま さわ
事業箇所: 赤浜の沢
 かみへいぐん おおつちちょう あかはまいちょうめ
 岩手県 上閉伊郡 大槌町 赤浜一丁目 地内
保全対象: 人家27戸、赤浜自治会館(避難所)
対策内容: 既設堰堤改築工、流木捕捉工、除石掘削



①火災時の状況



②火災後の流域状況
(下層植生の焼失・立木の焼損)



③既設砂防堰堤



④保全対象の公共施設
赤浜自治会館(避難所)



実施主体:岩手県

きりきり さわ
事業箇所: 吉里吉里の沢(2)
 かみへいぐん おおつちちょう きりきりちょうめ
 岩手県 上閉伊郡 大槌町 吉里吉里二丁目 地内
**保全対象: 人家87戸、吉里吉里地区体育館(避難所)、
 国道、県道**
対策内容: 既設堰堤改築工、流木捕捉工



①火災時の状況



②火災後の流域状況
(下層植生の焼失・立木の焼損)



③既設砂防堰堤



④保全対象の公共施設
吉里吉里地区体育館(避難所)



令和8年4月22日に岩手県上閉伊郡大槌町で発生した林野火災に対して 災害関連緊急砂防事業を実施し人家を守ります

国土交通省砂防部
令和8年7月1日

実施主体:岩手県

なつもと さわ
事業箇所: 夏本の沢
岩手県 上閉伊郡 大槌町 大槌 地内
保全対象: 人家39戸
対策内容: 既設堰堤改築工、流木捕捉工



①火災時の状況



②火災後の流域状況
(下層植生の焼失・立木の焼損)



③既設砂防堰堤



④保全対象(人家)



実施主体:岩手県

きりきりさんちようめ
事業箇所: 吉里吉里三丁目4
岩手県 上閉伊郡 大槌町 吉里吉里三丁目 地内
保全対象: 人家60戸、吉里吉里中学校(避難所)、
老人福祉施設(要配慮者利用施設)
対策内容: 砂防堰堤工



①火災時の状況



②火災後の流域状況
(下層植生の焼失・立木の焼損)



③保全対象の公共施設
吉里吉里中学校(避難所)



④保全対象の公共施設
老人福祉施設(要配慮者利用施設)



広域振興局土木部等の所管区域と所在地一覧

